

あんどおりすの防災四季だより

第58回 放送日：2020.5.10（日）

パーソナリティー：あんどおりす



テーマ：講演をオンラインで

「命を守る」という大切なことに役立つのは、
アウトドアのスキル。

阪神大震災を体験した「あんどおりす」さんが、
防災・減災の方法を楽しく導きます。

オンライン講演をやってみた

防災情報は、
スマートフォンからやってくる

地域の人とのつながりで広がる可能性



social distancing



今週も自宅からの収録でお届けしています。

今年のゴールデンウィーク、
皆さんはいかがお過ごしでしたでしょうか？

私は毎年この時期には、山に登ったりして
いました。

新型コロナウイルス感染防止対策により、
外出自粛の今、

山に登って遭難した場合に、
自分が感染していたとしたら、
救助する人に迷惑をかけてしまいます。

という事で、
多くの友達も含め、
もちろん今回は山に登っていません。



social distancing



Stay at home

Stay at home 家で過ごそう

山に登れないんだっただけという事で、
ロープを使って自宅の2階から降りて遊んで
いる友達もいました。

ハーネスとロープを使い、
懸垂下降という方法で2階からでもするする
と降りて、ちょっと楽しいんです。

やったらパートナーに怒られたという人もいた
そうです。

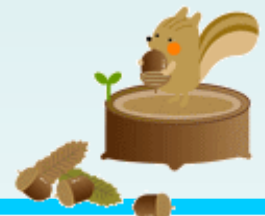
でも私は、
ちょっとやってみたかったな (・´3´・)
やればよかったなと思っています。

social distancing

そんな風に
室内とか、家の敷地内で過ごした方も多かつ
たことと思います。



Stay at home



オンライン講座実施の可能性

今この時期、講演もオンラインで行うのがちよつとずつ増えてきています。

例えば、
ビデオ会議、web会議ツールと言われる、

Skype(スカイプ)や zoom(ズーム)のよ
うなものを利用して行います。

このようなオンライン会議をしたりすると、

地域の人や高齢者たちは、
使いこなせないのではないか？ と、
よく言われます。

ところが...！ というお話です。

social distancing



オンライン講座をやってみました 真備町の場合

先日、
岡山県の真備町でオンライン講演をしました。

西日本豪雨の被災地でもあり、57名もの尊い
いのちが失われた地域です。

本来の予定では、
私が真備町に行って、防災キャンプをする予定
でした。

ですが、
新型コロナウイルス対策で、

Stay at home

stay home おうちにいましょうと
呼びかけられていたので、
オンライン講座に変えようとしたんですね。

参加者には高齢の方もいらっしゃるので、
どうなんだろうと一時迷いましたが、

でも、やってみました。





参加された皆さんは、

「防災講座は大事だよね」という事で、
事前にとってもよく勉強して下さったらしく、

実際にオンライン講座を開始してみたら、

準備万端で、
ツールを使いこなしていっしょにやりました。



背景設定にビックリ



ビデオ会議の時には、
パソコンやスマホ画面に自分の顔も出て
来たりするんです。

その顔の後ろに、お部屋の背景も映るん
です。

あまり見てほしくない場合は、
背景写真の設定ができます。

その設定もちゃんとされていたり、
いろいろ工夫されていて、

講演のwebツールに入室(合流)した時に
私はビックリ！ 感心しました。

social distancing



チャット機能活用

オンライン講演をしている最中にも使える、
チャット機能があります。



参加の皆さんは
講演で使うスライド画面を共有しながら、

チャットを使ってその画面上で会話もしていただく
のです。

もう参加者の皆さん、

Stay at home

質問事項とか、
「あーそれ、あ、そんなの有るよね。」とか、
「良く分かります。」とか、

そのような反応を
ガンガン書き込んだりしていました。

Stay at home



オンライン会議のハシゴも

講演が終わった後に

皆さんが、感想をチャット機能でバーツと書かれてから退出されたのにも、ビックリしましたね。



ママ向けの講演もしているのですが、

もう、それ以上に使いこなされてる感が、その時はありました。

social distancing

私の防災講座の後にも
3つほど皆さんと講演を聞いたり、
会議をしたりするとのことでした。

本当に使いこなしている感じです。



Stay at home



真備町の防災の家

真備町では、
西日本豪雨の際に多くの人の命が失われました。

助かった人たち、
地域の人たちは助け合い、

「防災の家」というのを
作られているんですね。



避難が必要な時には、
誰でもがそこに集まれば助かるという

「防災の家」は、

普段は人々が楽しく集えるという場所です。



Stay at home





地域の人たちのつながりを深める
支え合いの仕組みと、
避難機能付きの共同住宅です。

真備町箭田にある被災したアパートを提供
してもらい、

クラウドファンディングでお金を集めてリフ
ォームが進んでいます。



social distancing



人とのつながりで 広がる可能性

地域には
意外と多様な人々がいらっしゃいます。

真備町では、
つながりづくりという事を意識的にされているからこそ

IT関係に強い人が、
つながる人にどんどん伝えて、

今回のオンライン講演もできたのかなという
風に思っています。

高齢者や地域の人たちは無理、できないと
言うのではなくって、

いろいろなつながりを作ることで
できるようにもなってくるのではないかと
思っています。



おひとり様もつながろう

以前、
おひとりさま向け防災講座をした時に、

地域のひとり暮らしの方と
学生さんのひとり暮らしの方が一緒に講演
を聞いてくださいました。

その時には、
大学生が高齢者の方に
LINEの使い方を教えるというようなことも
可能になっていました。

できないという風に
簡単に、
決め付けたりする必要はないですね。



social distancing



social distancing



どうしたらできるのかな？
こうしたらできるね。

という方法を

地域の人と助け合って考えられたらいい
のだなど、

真備町の皆さんとお話して、
とても強く感じました。

Stay at home



読み書きそろばん + スマートフォン

防災情報は、
スマートフォンを使って、
アプリで色々発信されてくるようになりました。



昔は
「読み書きそろばん」と
言われていましたが、

今では
「読み書きそろばんスマートフォン」と
言われる時代になりました。

防災と言えばスマホからの情報！

スマートフォンは無くてはならないような
ものになって来ています。



social distancing





Stay at home

新型コロナウイルス感染が広がっているよ
うな時期だからこそ、

皆さんが色々な人とつながって

ちょっと難しそうなIT関係の事も、
地域の人たちと攻略して行ける。



というのは、

ひとつの希望なのかなという風に感じてい
ます。

気が重くなるようなニュースが続いてます
が、

真備町のみなさんの姿を参考にしてい
ただければ嬉しいです。

social distancing



(TEXT/はしも)